

## 技術資料

# ThreeBond 1810D

## 乾性粉末潤滑剤 ノンフッ素タイプ

### 1. 概要

ThreeBond 1810Dは無臭性の乾性粉末潤滑剤です。化学安定性、熱安定性、非溶解性、非引火性に優れた非フッ素系の粉末潤滑剤を主剤としており、スプレー後もベタつかず、ほこりの付着がおさえられます。金属、木材、プラスチック等の潤滑に効果を発揮します。

以下、ThreeBondをTBと略す。

### 2. 特長

- ①油性の潤滑剤と異なりベタつきがありません。
- ②吹き付け箇所へのほこりの付着がおさえられます。
- ③低温から高温までの広い温度範囲において、滑らかな潤滑作用を發揮します。
- ④プラスチックへの影響がありません。
- ⑤チューブ付きボタンを使用することで、狭い隙間にも塗布することが可能です。
- ⑥フッ素系成分を使用しておりません。

### 3. 用途

- ①自動車のドアロック、ドアヒンジ、ボンネットロック、ドアレギュレーター、ハンドブレーキ、トランクヒンジ、アンテナ、シートベルトバックル、スプリング等の潤滑や鳴き防止
- ②ケーブル等のきしみ防止
- ③家具の引き出し、ヒンジ、建具の鳴きやきしみ防止
- ④自転車、マシン、キー穴等の潤滑

### 4. 性状

表-1 TB1810Dの性状

項目	単位	特性値	試験方法	備考
外観	—	白色	3TS-2100-023	目視

## 5. 特性

表－2 TB1810D の特性

試験項目	単位	特性値	試験方法	備考
静止摩擦係数	—	0.20	※1	—
動摩擦係数	—	0.11	※1	—
潤滑性	—	合格	3TS-2D00-005	※2

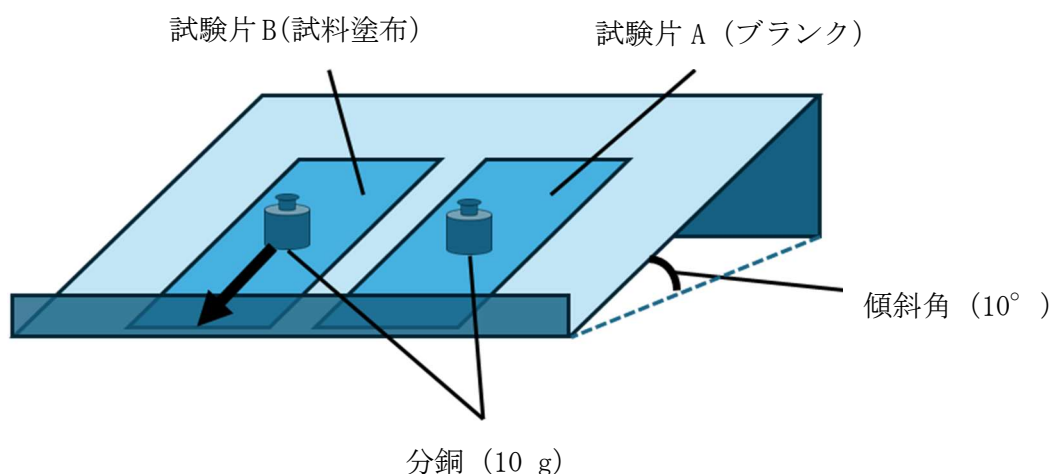
## ※1 試験条件：

新東科学株式会社製 摩擦摩耗試験機を使用し、下記の方法で測定した。

- ①アルミ (A5052P) の平板上に TB1810D を数秒噴霧し、均一に塗布する。
- ②ロール圧子 (10 mm) を垂直荷重 100 g で押し当てる
- ③100 mm/min の速さで 20 mm の距離を 12 秒間往復させる。
- ④静止摩擦係数、動摩擦係数を読み取り、記録する。

## ※2 試験条件：

- ①傾斜角を  $10^\circ$  に調整した潤滑性確認用治具を用いる。  
試験片 (縦 : 15 cm 横 : 7 cm の SPCC-SD) 2 枚をトルエン等の有機溶剤で脱脂する。
- ②試験片 A の中央に分銅 (10 g) を静かに設置し、分銅が動かないことを確認する。
- ③試験片 B に TB1810D を 1~2 秒噴霧し、均一に塗布する。  
目地刷毛などを用いて試験片 B を縦方向に軽くなでるようにし、試料をなじませる。
- ④試験片 B を治具にセットし、分銅を静かに試験片中央に置く。  
この際小さく円状に分銅を動かし、潤滑面をなじませる。
- ⑤分銅から静かに手を離し、分銅が試験片 B の下端まで滑り落ちた場合、合格と判定する。



図－1 潤滑性試験

## 6. 使用方法

- ①潤滑させたい部分の汚れを除去してください。溶剤や水性洗剤を用いた場合はよく乾燥させてください。
- ②TB1810D を使用前に、缶を上下に反転させたりしながらよく振ってください。
- ③TB1810D を潤滑させたい部分に向け、15～20 cm 程度離して満遍なく噴霧してください。付属のチューブを使用する場合は被着体から1～2 cm 程度離して噴霧してください。  
※缶を逆さまにして使用しないでください。  
※本商品はごく少量で潤滑性を発揮します。多量に噴霧すると粉飛びにつながりますので、薄付きになるよう使用してください。
- ④噴霧後、被着部を数回摺動させ、TB1810D をなじませてください。きしみがある場合は再度噴霧し、摺動させてください。
- ⑤余分な箇所やはみ出した部分はウエス等で拭き取ってください。
- ⑥付属のチューブ付きボタン使用後は、チューブを取り外して収納してください。  
※TB1810D は潤滑油等を用いて固定しておりませんので、指やウエス等で拭くと簡単に除去できます。必要以上に触ると十分な潤滑性を発揮しない恐れがありますのでご注意ください。

## 7. 使用上の注意

- ①**吸引飲用不可**
- ②ご使用前に適切な保護具（保護マスク、保護メガネ、保護手袋等）を着用し、眼や口や皮ふに薬剤が触れないように注意してください。
- ③皮ふに付着した場合は水や石けんで十分に洗浄してください。
- ④眼に入った場合はすぐに多量の清水で十分に洗浄してください。
- ⑤飲み込んだ場合は口を清水で十分に洗浄してください。飲み込んだ場合は少量の清水を飲み様子を見てください。
- ⑥何らかの異常がある場合、医師の診断を受けてください。
- ⑦シミになる恐れがあるので、衣服に付着しないよう注意してください。
- ⑧可燃性ガスを使用していますので、静電気・熱・高温のもの・火花・裸火等の着火元から遠ざけ、通気の良い場所でご使用ください。
- ⑨5℃以下の低温環境では内圧が下がり、噴霧が安定しないことがあります。25℃前後に温めることで噴霧が安定致します。
- ⑩長時間連続で噴霧すると容器内部の急激な圧力変化で製品温度が下がり、噴霧が安定しないことがあります。25℃前後に温めることで噴霧が安定致します。
- ⑪温める際は40℃以下で湯煎などを行ってください。破裂の恐れがありますので、絶対に直接熱源に近づけないでください。
- ⑫**破裂の恐れがありますので、絶対に直接熱源に近づけないでください。**

## 8. 保管方法

- ①子供の手の届かないところに保管してください。
- ②高圧ガスを使用しております。車内、40℃以上になる室内、直射日光下、暖房等の熱源の近くに保管すると破裂する可能性がありますので、これらを避けて保管・ご使用ください。
- ③錆の発生により缶に穴が開き破裂する恐れがありますので、水のかかる場所や湿気の多い場所を避けて保管してください。

## 9. 廃棄方法

- ①廃棄前に完全にガスを抜いてください。
- ②危険ですので使い切った状態でも容器を焼却しないでください。
- ③空容器や製品の廃棄は、都道府県知事等から認可を受けた産業廃棄物処理業者に依頼して産業廃棄物または自治体の指示に従い処理してください。

## 10. 法規制

安全データシート（SDS）をご確認ください。

## 11. 注意

**工業用**

（家庭用には使用しないでください。）

本商品は一般工業用途向けに開発されたものです。商品のご使用に際しては、以下の点をご承諾ください。

- 本書に記載している技術データは、当社規定の試験方法による実測値の一例であり、保証値ではありません。また、本書で紹介している用途は、いかなる知的財産権にも抵触しないことを保証するものではありません。
- ご使用に際しては、当該用途に使用することの妥当性・安全性について必ず事前確認いただき、それに伴う全ての責任と危険をご負担ください。  
なお、体内への埋込・注入又は残留する恐れのある医療用インプラント用途には絶対に使用しないでください。
- 商品の誤った取扱いによる傷害及び損害については、当社では責任を負いかねます。  
ご使用になる商品の性質・使用方法が不明な場合は、絶対に使用しないでください。
- 商品の安全情報詳細については、安全データシート（SDS）をご確認ください。  
SDSの入手方法につきましては、当社営業所又はカスタマーサービスにお問い合わせください。
- 本書の記載内容は、当社独自の判断で変更する場合があります。

## 12. 登録商標

ThreeBond、スリーボンドは株式会社スリーボンドの商標または登録商標です。